

施策評価シート（令和3年度 実績）

基本目標	ひとが集い、安心して暮らせる魅力的な地域をつくる
------	--------------------------

施策評価（施策主管部長）

施策	地域コミュニティの醸成支援		評価者	政策部長		
施策内容	人口減少・少子高齢化の進展に伴い、地域組織の機能縮小が危惧される中、地域の魅力の創出や地域事業の見直し、地域組織の再編検討などにより、自主的な地域組織の強化を支援します。					
主な事業	予算等事業名		行政評価結果	KPI達成への有効性	説明	
	1	地域再生事業	適当	有効だった	一色小学校区地域再生協議会は自立した団体として活動を継続。	
	2	町民活動推進事業	適当	有効だった	ステップアップ支援については十分な活用が図られた。	
	3	防災訓練・自主防災組織育成事業	適当	有効だった	各種訓練・研修会、講演会を実施した（回数はコロナで減）。	
重要業績評価指標（KPI）①	指標名	住み続けたいと思う一色小学校区内住民の割合（％）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	79.6	82.6	84.6	86.0	A
	実績		80.0	87.7	－	
	分析	計画値を達成しており、取り組みは良好といえる。				
	方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案			
重要業績評価指標（KPI）②	指標名	地域活動に参加している人の割合（％）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	26.5	27.0	27.5	28.0	A
	実績		29.5	32.0	－	
	分析	計画値を達成しており、取り組みは良好といえる。				
	方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案			
重要業績評価指標（KPI）③	指標名	消防団員の充足率（％）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	97.4	98.7	100.0	100.0	A
	実績		98.7	100.0	－	
	分析	計画値を達成しており、取り組みは良好といえる。				
	方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案			

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・一色小学校区地域再生協議会は、地域との連携強化を図り、自立した。 ・ステップアップ補助金は、たくさんの町民活動団体に活用されている。 ・各種訓練、研修、講演会を実施し、住民の防災意識を向上することができた。 			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ① 一色小学校区以外の地区への展開。 ② スタート支援補助金の活用団体が少ない。 ③ コロナ禍における訓練・研修の在り方の研究。 			
	改善点 (課題番号 に対応)	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域生涯学習振興事業補助金の周知を図る。 ② 活動を始めたい団体の支援に努める。 ③ 感染対策に留意しつつ、必要な訓練、研修、講演会を開催する。 			
	評価	<input checked="" type="checkbox"/>	地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/>	地方創生に相当程度効果があった
		<input type="checkbox"/>	地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/>	地方創生に対して効果がなかった

外部評価（二宮町政策評価委員会）

施策評価	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け対象や規模等の拡充が必要	<input checked="" type="checkbox"/>	施策実現に向け順調であるため継続実施
	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け課題があるため見直しが必要		
意見	<ul style="list-style-type: none"> ● 一色小学校区は、地域再生協議会や地元住民の活動で良好な状態となっているが、このような地域組織の意識や活動は、地区ごとの特徴に応じてアプローチを変える必要があるため、地区活動に対する評価も、地区ごとにKPIを設定するなど評価方法などを考慮する必要がある。 ● 地域の役員や消防団員は、これまでのやり方だけでは人が集まらない状況となっているため、体制の見直しや、幅広い範囲の町民に参加してもらえるような環境づくりをする必要がある。 ● 町民活動推進補助金のスタート支援の活用団体が少ないことから、団体活動を始めるにあたって、どのようなことが課題となっているか把握し、必要な支援策を講じる必要がある。 ● 小学校の統廃合という急激な体制の変化は、登校距離の延長に伴う安全面のリスク増加や新規転入者への対応力の低下など、新たな問題を生じさせる可能性があるため、町の将来像を考えつつ、今後の検討をする必要がある。 			

今後の方針（二宮町総合戦略推進本部）

各事業の 今後の方向性	予算等事業名		行政評価の 方向性	総合戦略	
				方向性	特記事項
各事業の 今後の方向性	1	地域再生事業 (担当課：地域政策課)	統廃合	継続推進	・地域生涯学習振興事業補助金の周知に努める。
	2	町民活動推進事業 (担当課：地域政策課)	要改善	見直し	・活用団体の少ないスタート支援について、広報や手続き方法などの見直し等、利用しやすい制度となるよう検討する。
	3	防災訓練・自主防災組織 育成事業 (担当課：防災安全課)	現状維持	継続推進	・感染防止にも留意しつつ訓練や研修を実施するとともに、引き続き、効果的な防災情報の発信に努める。